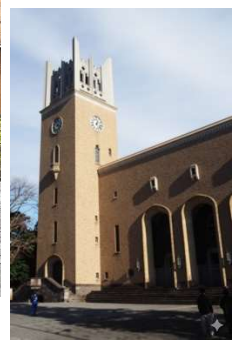


『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ **2025/11/5**

SAH×進路大学見学②～非認知能力を育む学校行事～

計画から実行まで！大学見学が育んだ生徒の「考える力」と「やり抜く力」

今回は、東京の主要大学を巡った生徒たちのキャンパスで得た率直な感想をご紹介します。第2弾となる今回は、「大学見学 × 非認知能力」をテーマに、生徒の活動にスポットを当てます。班編成から計画を立て、自ら実行した経験が、生徒たちにどのような学びや成長をもたらしたのか。当日に向けての準備の裏側、当日のリアルな体験、そしてこの経験で身についた非認知能力について、生徒へのインタビューを交えて深掘りします。



【準備編】 東京での移動を想定し、班員と協力しながら計画を立案

★大都市東京での複雑な移動や、複数の見学先を回るためのスケジュール調整は、慣れない生徒たちにとって大きな課題でした。班員はどのように知恵を出し合い、時間や意見を調整したのでしょうか。

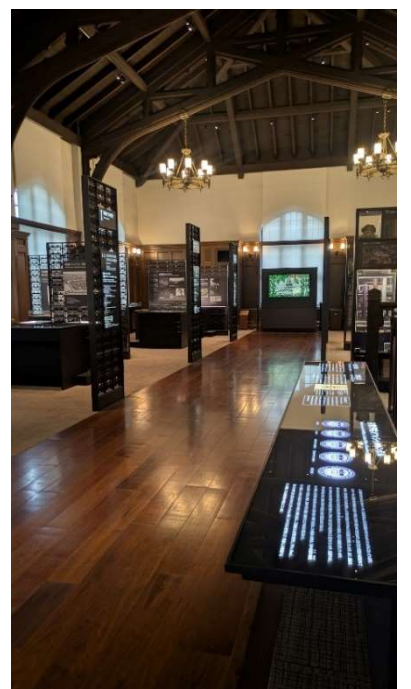
□「**ゴールから逆算の計画性**」:集合から解散まで、全ての行動を自分達で決めました。特に、帰りの時間から逆算して大学見学や昼食、移動等の時間配分を組み立てたことで、計画の段階で時間的な余裕を確保できたことが、成功につながったと思います。(1組)

□「**多様な意見の調整力**」:大学見学の計画づくりにおいて、班員一人一人の行きたい場所ややりたいことといった多様な意見を汲み取り、全員が心から満足できる行動計画を立てることが最も難しかったです。このプロセスを通して、相手の意見を尊重し、譲り合いながら合意点を見つける協調性が成長しました。(2組)

□「**複雑な東京でのルート確保**」:初めての東京だったので、どの電車に乗るか、どこで乗り換えるかなど、迷わないように地図を見ながら計画を立てるのが難しかったです。目的地に時間通りに着くために、電車の時間や乗り換えを念入りに調べたことが良かったと思います。(3組)

□「**協力による円満な準備**」:限られた時間の中で班員と協力し、調べる内容や担当を分けて効率よく準備を進めました。全員の意見を尊重しながら話し合うことで、スムーズに準備を終えることができ、協力の大切さを強く感じました。(4組)

□「**役割分担とオンライン活用**」:電車の細かい時間やどこで乗り降りするのか等を調べるのが難しかったです。事前に役割分担を明確にし、オンラインツールを使って情報共有をこまめに行ったことで、効率よくスムーズに準備を進めることができました。(4組)



【当日編】 想定外の事態に直面！臨機応変な対応と周囲への気配り

★事前に綿密に計画を立てたにもかかわらず、当日は電車の遅延、施設の場所間違い、昼食時のトラブルなど、様々な想定外の事態に直面しました。生徒たちが現場で発揮した対応力や、公共の場での行動に焦点を当てます。

□「**遅延を乗り越える判断力**」:上野東京ラインが遅れていましたが、すぐに時刻表や運行状況を調べた結果、予定より 1 本前の電車に乗ることが可能だと分かり、行動しました。不測の事態が発生した時に、みんなで手分けして解決策を探す力がついたと思います。(1 組)

□「**トラブル防止の意識**」:東京は人が多いので、トラブルを起こさない、巻き込まれないように、終始班でまとまって行動することを意識しました。また、周囲に迷惑をかけないよう、常に周りに気を配り、協力し合うことができました。(2 組)

□「**周りへの気配り行動**」:私は、周りを見る力と人のためになる行動する力がついたと思いました。例えば、帰りの電車の時に出口のボタンを押したり、人の落とし物に気づいたり、歩いている時に、後ろから来ている自転車を避ける声かけができたりました。(5 組)

□「**地図を読む力**」:東京の中で目的地の方向がぼんやりとしてしまい、少し迷ってしまいました。しかし、ただスマホのマップに頼るだけでなく、周りの案内板や地形などもよく読み、複数の情報源から目的地へのルートを判断することで、なんとか辿り着くことができました。(1 組)

□「**昼食トラブルへの冷静な対処**」:事前に決めていた昼食の店が営業していないという予期せぬ問題が起きました。しかし、班のメンバーで冷静に「どうするか」を話し合い、すぐに調べて違う店に行き昼食を済ませることができました。問題が起きてもしっかりと対処できたのが良かったです。



【成長編】 東京での挑戦を通して、“将来に繋がる力”を獲得

★この「大学見学」は、生徒たちが自ら計画し、行動し、問題を乗り越える「実践の場」となりました。この経験を通じて、生徒たちが最も成長したと感じた「主体性」「協調性」「問題解決能力」などの非認知能力について紹介します。

【**主体性**】:今まで親で行った時はただ「ついて行っていただけ」でしたが、今回は前橋駅から東京まで自分で一から計画を立て、自ら行動できたことが一番大きな成長だと感じています。調べて自ら行動する力が身につきました。(1 組)

【**行動力と余裕**】:家族と数えられるほどしか乗ったことのない電車で、乗り換えを自分で調べて一度も間違えずにたどり着けたのは大きな**自信**になりました。今までは地図ばかり見て真剣に歩いていましたが、今回は班員と仲良く話す**余裕**も生まれ、少し成長を感じました。(2 組)

【**時間管理能力・問題解決能力**】:自分達で**物事をどうにかする能力や時間管理など、社会に出る上で必要となるような能力**が特に鍛えられました。計画を立てて実行し、問題が起きてもしっかりと解決するという一連の流れを経験できたことが大きいです。(3 組)

【**自己効力感と臨機応変さ**】:予定より早く見学が終わった後、どうするかなど自分達で考えて行動することができました。困ったことがあっても落ち着いて行動できたこと、そして「きっとできる」と信じる自己効力感が最も成長したと感じています。(4 組)

【**リーダーシップ**】:少人数の班でしたが、時間を把握して伝えたり、はぐれないように行き先へ案内したりと班長らしい行動ができたと考えます。今まで自分はリーダーに向いていないと考えていましたが、今回の経験で**自己肯定感**も上げることができました。(5 組)

【番外編】 全体の感想

□群馬よりも人も多いしキャンパスも大きいから、

群馬県内の大学を見学させてもらった時よりもまた違う刺激をより多く得られたと思う。

□東京駅は私が今まで行った駅の中で 1 番広くとても迷いましたが、自分達で考え行動できたと感じました。

□名門と呼ばれる大学に見学に行けて、モチベーションが上がったと思います。本当に楽しかったです！！

□制服で知らない土地をうろうろすると学校の看板を背負っているようで少し緊張しました。つつがなく終わることができて良かったです。

□部活以外で先生なしで県外に行くのは初めてなのでいい経験になったと思います。ハプニングがたくさんありましたが、仲の良い友だちと東京を周れて楽しかったです！

